

## 再 評 価 書

事業名	県営漁港関連道路整備事業		事業区分	(あ)のり 安乗漁港	室名	水産基盤室
事業概要	工期 (下段：当初)	平成13年～ 平成18年(予定)	全体事業費 (下段：当初)	百万円(負担率：国：県：他) 598百万円 (3/6:2/6:1/6)		
		平成13年～ 平成17年(予定)		百万円(負担率：国：県：他) 598百万円 (3/6:2/6:1/6)		
<b>事業目的及び内容</b>						
<p>当地区の中心となる安乗漁港は、志摩半島の北東、的矢湾の湾口に位置しており、沿岸漁業を主にトラフグの延縄漁、クルマエビ・イセエビの刺網、各種一本釣、定置網や採貝藻漁業等、四季を通じて多種多様な漁業が営まれており、近年、サバ・トラフグ等活魚の流通が多くなり、市場から中京・京阪方面へ大型活魚車で運搬が主となってきています。</p> <p>漁港周辺は安乗灯台、国の重要文化財でもある安乗文楽等の名所や文化が継承されており、観光客も多く訪れることから、旅館、民宿業が盛んで、観光と水産業が中心の漁業集落となっています。</p> <p>しかし、当集落は、段丘状の地形に住居が密集しており居住可能面積は狭く、集落内の道路も車の通行が不能な所が多く漁村特有の集落構造となっています。</p> <p>このようななか、安乗漁港に水揚げされた水産物の流通経路は、当該集落の中を走る県道165号線を利用しており、幅員は非常に狭く両側に人家も密集しているにもかかわらず、バス路線・通学道路・日常生活道路・観光路としても利用され、交通渋滞、交通事故も発生していることから、利便性、安全性の改善が求められています。</p> <p>これらの問題を改善するため、今回本事業を行うこととしました。</p> <p style="text-align: center;">道路工      L = 980m(新設)      (幅員 7.0m      車道幅員 5.5m)</p>						
<b>事業主体の再評価結果</b>						
<p><b>1 再評価を行った理由</b> 事業採択後5年を経過し、なお事業継続中ですので、三重県公共事業再評価実施要綱第2条(2)に基づき再評価を行いました。</p>						
<p><b>2 事業の進捗状況と今後の見込み</b> 平成13年度から事業に着手し、用地買収はすべて完了し、現在道路整備を進めています。 事業の進捗は、事業費で平成17年度末までに67%完了し、残事業は33%となっていますが、平成18年度には全体計画を完了する見込みであります。</p>						
<p><b>3 事業を巡る社会経済状況等の変化</b></p> <p>(1) 全体計画の変更 当初計画どおり</p> <p>(2) 周辺環境の変化 安定した漁獲の確保、魚価の安定化、「ありのりフグ」のブランド化等に伴い、大型車による活魚形態流通が主流となっています。陸揚げ量は、平成11年119トンから平成15年には202トン(69%増)と大幅に増えてきているにもかかわらず、道路は幅員が狭く、日常生活道路としても利用されていることから、早急な改良が必要となってきています。 平成14年には、志摩市内の17漁協が合併し志摩の国漁業協同組合が発足しました。安乗漁港はこれの中で拠点市場として位置付けられたことにより、大型まき網漁船が入港するなど、益々漁港の利用が増えている状況にあります。 そのようななか、地元では水産物の効率的な搬出に向けての期待が高まっています。</p> <p>(3) 財政状況の変化 厳しい財政事情の中ではありますが、平成18年度完了していくこととしています。</p>						

**4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元の意向の変化等**

4 - 1 費用対効果分析

B (総便益額) = 730百万円

C (総費用額) = 578百万円

B / C (費用便益額) = 1.26

4 - 2 地元の意向

地元の志摩の国漁業協同組合及び自治会からは、利便性及び安全性から事業の早期完了への強い要望をいただいております。

**5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性**

5 - 1 コスト縮減

道路盛土に必要となる土砂を、国道260号線の改良で発生する土砂を流用することにより、30百万円のコスト縮減を図っています。

今後も道路舗装において、再生路盤材及び再生アスファルト合材を使用するなど、積極的なコスト縮減に努めます。

5 - 2 代替案

現道幅は民家が密集しており困難であるため、本ルートが妥当であると判断しました。

**再 評 価 の 経 緯**

該当なし

**事 業 主 体 の 対 応 方 針**

三重県公共工事事業再評価実施要綱第3条の規定により、同要綱第5条第1項に該当すると判断されるため、当事業を継続したいと考えています。